

# えんだより(3月号)

令和7年2月28日発行

社会福祉法人 凰鳴会  
チャリティー第一保育園  
(Tel: 59-3040)

少しずつ日が長くなり、寒さの中にも春の暖かい日差しが感じられるようになりました。

今年度も残り一ヶ月となりました。今年度は、保育テーマを「わくわく保育」とし、学びの連続性を意識した保育に取り組みました。終わりを告げない遊びを通して興味関心が広がったり深まったりする中で、一人一人がその子らしく成長をする姿に、職員一同うれしく思っております。

3月は4名の新しいお友だちが入園します。先日行われた歓迎会では、うぐいす組とこまどり組が参加し、迎えてくれました。

こまどり組のお友だちは、3月末をもって保育園を巣立ち、小学校へと新たな一步を進みます。保育園生活、最後の日まで、良き思い出となるよう充実した時間を過ごしたいと思います。在園児のお友達は、進級へと期待に胸を膨らませ、ちょっと背伸びをするような思いを感じていることでしょう。子ども達の1年の成長をかみしめながら、まとめの月を丁寧に過ごして参りたいと思います。

## 2月の子供たちの様子

☆豆まき会(2/3)☆ まずは全員で「イラストの鬼」を退治。その後、3~5歳児は園にやってきた緑鬼を退治することに。特にこまどり組は勇敢に立ち向かい紙の豆を投げてくれました。



さいごは、心の中の鬼を退治するために、豆シャワーをあびました。↑↑

### ☆みそ作り(かなりや)☆

- ①ゆでた大豆をしっかりとつぶす
- ②こうじをまぜます
- ③樽にしこみます⇒完成!
- ④来年の今頃は、みそおにぎりに挑戦しますよ。



### ☆カレークッキング(こまどり)☆

- ①野菜を洗う
- ②皮をむく
- ③切る
- ④小向先生に煮込みをお願いする。
- ⑤慎重に盛り付け
- ⑥「いただきます!」



### 入園式について

毎年4月1日に実施していましたが、年度途中の入園が増えていることから、随時、「Welcome Party」を開催し、新しいお友達をお迎えすることになりました。

### 新年度クラス説明会

3月27日(木)、28日(金)の以下の時間帯で行います。  
○15:00~15:50 ○16:00~16:50

※全クラス保護者(希望者)対象ですが、不参加の方へは、後日、書類をお渡ししますので、お読みください。

### ☆フルーチェクッキング(はと)☆

フルーチェを入れて、「おいしくな～れ」と願いを込めて、ませませしました。



# 3月のよてい



- 3日(月) ひなまつり会  
生ドラクッキング (こまどり組)  
4日(火) 身体測定 (0歳児)  
5日(水) おおぞら小学校へ行ってみよう① (こまどり組)  
6日(木) こども赤十字  
8日(土) 第64回卒園式 (こまどり組親子で参加)  
11日(火) こまどり組を送る会  
おおぞら小学校へ行ってみよう② (こまどり組)  
12日(水) お誕生会  
17日(月)~ 春休み (1号園児)  
25日(火) 避難訓練  
歯科健診 (全クラス対象 13:30~)

## 保育料集金日

3/21(金)

3/24(月)

## 2・3月のおうた

あくしゅでこんにちは  
かわいいかくれんぼ  
一丁目のどらねこ  
あんたがたどこさ

## 今月の教室活動

[キッズピクス教室]

3/14(金)

[サッカー教室]

3/10(月)

### ゲーム機やタブレットの使用について

小学校に入学すると、一人勉強（家庭学習）が始まります。ゲーム機やタブレットの使用が子どもの自由になっている場合、一人勉強がおろそかになる場合が多いようです。

幼児期は脳の発達が盛んなため、特定の刺激の強い機器の使用はおすすめしませんが、家庭の都合により与える場合は、お子様が自己をコントロールする力（親がやめなさいと言ったら止められるか。遊べない日を設け、我慢できるか。時間を守れるか。）を見ながら、購入するか否かを判断しましょう。

### おおぞら小学校へ行ってみよう！って何？

4月に1年生になるこまどり組。

初めての小学校生活は期待と不安が入り混じっています。学校生活の不安が少なくなることをねらいとした就学直前プログラムです。

#### ○1回目の内容

授業参観（終わり前の10分）

中休み体験（小学生となわとびをする予定）

#### ○2回目の内容

昼休みの時間を利用して、学校を探検します。

## えんちょう先生より

急激に進む人口減少の波にあらがい続けることは難しいことである。

ただし、この状況でなければできないことをみつけ、考え方をプラスにシフトすることは可能である。

令和6年度はわくわく保育をテーマとして掲げ、一人一人の子どもの育ちを保障すべく、丁寧な関わりと連続的な学びを目指しました。合わせて、「クラス便り」の形式も変更しました。子どもの遊びの中で見られる気づきの姿を写真とコメントで、保育者のねらいを文章で示しました。これまでのクラス便りよりも、子どもの学びの姿が分かりやすくなつたと感じて頂けたら幸いです。

今年取り組んだ「わくわく保育の姿」を一部紹介します。

○0～2歳児クラス「かけ」：絵本（いろいろバス）の読み聞かせで“影”を知った園児。“影”って何？から始まった“かけ遊び”。園庭の地面に自分の体の影を発見したり、散策でみつけた枯れ葉やカラーセロファンをラミネートして、お部屋の中で影が変化する様子を見たり、楽しました。

○3、4歳児クラス「虫かご作り」：こまどり組の手作り虫かごにあこがれ、挑戦。廃材を利用して虫かごを完成させ、虫取りへ。でも虫が息をするために空けた小さな穴からバッタが逃げてしまい、作り直すことに。その後も、使っては作り直すなど、何度もトライ＆エラーに取り組みました。

○5歳児クラス「秘密基地づくり」：ブームになった細剣づくりが秘密基地作りに発展。一人一人のイメージを絵で描き発表。形が決まつたら、細剣をどのように組み立てるのかを話し合い、10月から今現在も取り組みは続いています。外側が完成すると、基地の中に遊びものや生活用品を作り始めました。小さな子が入ることで壊される不安も、「作り直すことができる」という経験から、今では共に遊ぶ姿が多く見られます。

今年度のわくわく保育の実践を活かし、次年度は「プロジェクト保育」に発展し行う予定です。

当園は、個別最適なクラス規模、園児数に対して国基準の2～3倍の広さである建物を自由度高く使えるメリットがあります。これからもチャリティーは、子どもたちの興味関心や探求心により遊びの世界が広がるよう、環境設定や保育者の様々な役割について研鑽し、「遊びは学び、学びは遊び」を提供して参ります。子ども達は「私たちの未来」です。一人ひとり、その子らしく輝く未来を信じています。

この春、園を巣立つ子ども達の育ちゆく姿を思いながら、いつまでも応援しています。

園長 黒沢のぞみ